

ごろうもん はいすいこう せいび 御楼門と排水溝の整備

Reconstruction of the Goromon Gate and Drainage Ditch

누문과 배수구의 정비

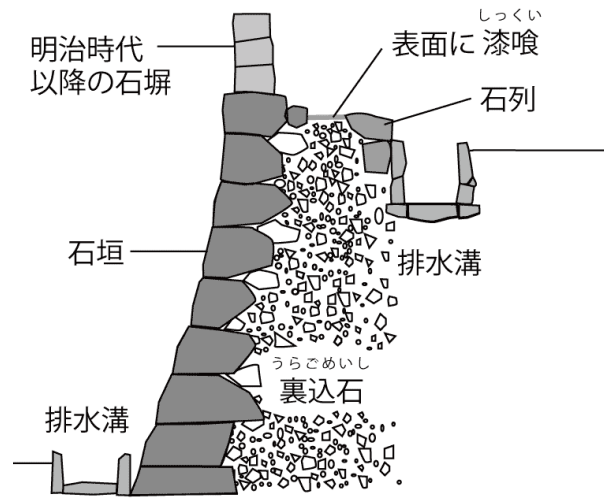
楼门和排水沟的整建

樓門和排水溝的整建

かごしま つるまる じょう
鹿児島（鶴丸）城内には、雨水を機能的に排出するため、多数の石造りの排水溝を巡らせていました。

ここでは平成 28(2016)年度の発掘調査によって、石垣に沿うような形で排水溝が確認されました。石垣の裏には通水の機能がある裏込石が充填され、石垣と石列の間の表面には漆喰を塗り水漏れを防ぐ工夫がなされていました。石列の一段下には石組みの排水溝が通っています。発掘調査の結果、江戸時代の排水溝は複数回にわたる付け替えなどの維持管理が行われたことや、近代以降、排水溝に土管が据え付けた跡などが確認され、長い間利用され続けていたことが分かりました。

これらは当時の城内を知る上で重要な遺構であるため、保護するために埋め戻し、排水機能の回復を図るため、埋め戻した排水溝の上にレプリカの排水溝を設置しました。

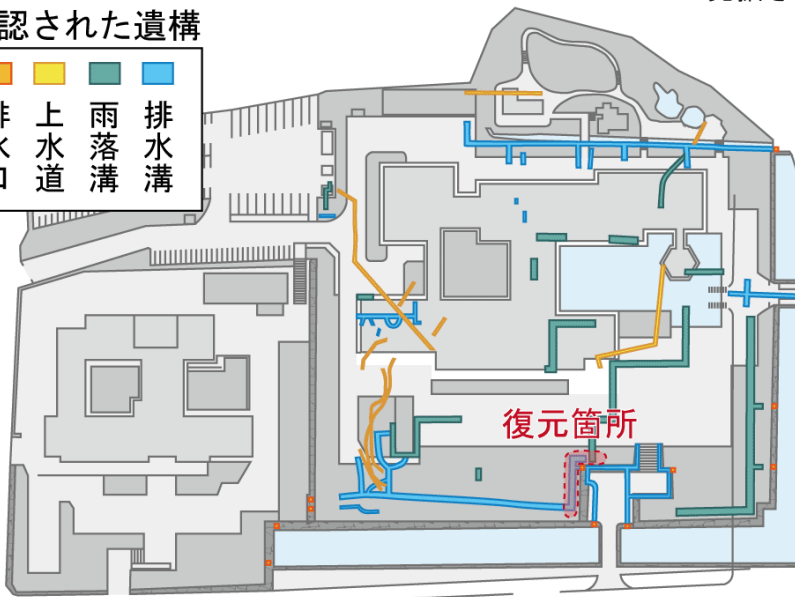
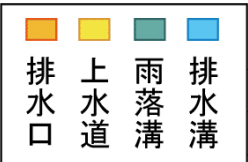


いしがき はいすいこう
▲ 石垣と排水溝模式図



はいすいこう
▲ 発掘された排水溝

確認された遺構



はいすいこう
▲ 確認された排水溝等の遺構の位置